

都市づくりフォーラム 第16回

都市づくりトピックス

< 協働による都市づくり～座間市の事例 >

座間市の鈴鹿・長宿地区は、河岸段丘の斜面緑地を背景に、湧水や社寺などの景観的な要素に恵まれている町です。

地元の住民は、素晴らしい景観を後世に残そうと「街づくり協定運営委員会」を立ち上げました。協定では、屋根や壁を落ち着いた色調にするなど家づくりのルールが定められています。周囲の景観と調和した家や生垣をつくった人に対する表彰制度もあります。さらに、住民総ぐるみで、道路や公園の清掃、トンボやホタルの育成、あいさつ運動、花いっぱい運動、小学生による写生画展など様々な活動を展開しています。

座間市は、国の補助金や市費の投入など側面から支援をしています。

実際に現地を視察してきました。運営委員や市の職員が自分の街をうれしそうに説明している姿が印象的でした。愛着と誇りを持てる羽生市となるよう、協働の都市づくりを進めていきたいと思います。

羽生のいいところミーツケ

< 羽生市の近代化遺産その4 >

中央4丁目にとてもめずらしい倉庫があります。側壁は土壁造りですが、内部を仕切るために煉瓦を積んで壁としています。その壁は瓦葺きの屋根の上に張り出していて、和洋折衷倉庫とでもいえるような造りです。建築されたのは明治の初め頃といわれているそうです。いまなお現役の倉庫は、街の歴史の生き証人でもあります。これからも羽生の街を見守り続けてほしいと思います。



市民フォーラム

先月号で都市計画課を訪れた中学生の話をしましたが、彼らから「羽生駅の自由通路にはタバコの吸い殻が散乱しているけど、灰皿はないのですか。」という疑問が届きました。実は、自由通路は禁煙です。吸い殻があってはならない場所です。（どこでもそうですが）社会の規範を後の世代に伝えていくのは大人の責任です。ルールを守るという当たり前のことを怠らず、みんなが気持ちよく生活できる町をつくりたいものです。

市民フォーラムへのご意見やいいところミーツケへの情報提供先は

都市計画課（内線 275）

FAX 561 - 6380

email toshikei@city.hanyu.lg.jp